

令和2年7月29日(水) 場所 委員会室

○出席委員

委員長	高柳貴美代	委員	小口 俊明
副委員長	稗田美菜子	
委員	藤田 貴裕	議長	石井 伸之
”	藤江 竜三	副議長	望月 健一
”	住友 珠美		

○議会事務局職員

議会事務局長	内藤 哲也
議会事務局次長	波多野敏一

○協議事項

◎議長挨拶

議題1. 懸案事項について

○【高柳貴美代委員長】 皆様、こんにちは。

それでは、定足数に達しておりますので、議会運営委員会を開きます。



◎議長挨拶

○【高柳貴美代委員長】 まず初めに、議長より御挨拶をお願いいたします。

○【石井伸之議長】 皆様、こんにちは。議会運営委員会の皆様には、連日にわたり、こうしてリモートでのウェブ会議実現に向けての御協議を重ねていただき、誠にありがとうございます。

議会事務局職員の皆様におかれましては、毎回機材を工夫し、そしてウェブ会議、模擬会議で出てきました様々な課題に対して、一つ一つの確な改善を図っていただき、心から感謝を申し上げます。

そして今日は、高原議員、関口議員、香西議員には傍聴をいただき、心から感謝を申し上げます。ウェブ会議がこの決算特別委員会でも実現できるよう皆様の御協議、本日も進めていただきますよう心からお願いをいたしまして、一言挨拶とさせていただきます。本日もどうぞよろしくをお願いいたします。

○【高柳貴美代委員長】 議長、ありがとうございました。

それでは、協議事項に沿って議事を進めてまいりたいと思います。



議題1. 懸案事項について

○【高柳貴美代委員長】 議題1、懸案事項についてに入ります。今日は前回に引き続き、ウェブイーエックスを使用して模擬決算特別委員会を行います。その前に、前回調査依頼がありましたタブレット端末に係る費用について、議会事務局より御説明をお願いいたします。議会事務局長。

○【内藤議会事務局長】 タブレット端末につきましては、アップルの公式ウェブサイトアイパッドを調査しております。最低限のスペックで廉価なものと5万5,000円程度、画面のサイズが最も大きいもの12.9インチですと13万4,000円程度でございました。月々の通信料金につきましては、携帯電話のキャリアによって通信容量が異なりますけれども、ある携帯キャリアでは20ギガで5,500円、また別のキャリアですと50ギガで7,480円でございました。報告は以上でございます。よろしくをお願いいたします。

○【高柳貴美代委員長】 局長、ありがとうございました。報告が終わりました。

ここで、今回の模擬決算特別委員会の行い方について御説明をさせていただきたいと思います。御配付いたしております参考資料を御覧ください。これまで、この議会運営委員会で委員の皆様、また、傍聴の議員の皆様の御協力を頂きまして、今まで3回にわたり、実際の機器を使用した中で、委員会のオンライン化について検討、検証をまいりました。その中で、タブレットの台数の問題、ハウリング等の音声の問題、また、傍聴者、インターネット中継への音声対応の問題等がございました。試行錯誤の中、ハウリングについては軽減されてまいりましたが、新たにイヤホン使用の問題も考えなければいけないということが分かりました。

皆様と模擬決算特別委員会をしながら様々な意見交換をしていく中で、今回は従来と方式を少し変え、委員の御意見にもございましたサテライト的な運用を試してみたい、そういうふうには思っています。そのような運用の方法を今日は行ってみたいと思いますが、いかがでしょうか。

(「はい」と呼ぶ者あり)

ありがとうございます。簡単に御説明いたしますと、委員の皆さんは、委員会室内で従前と変わらず質疑等をしていただくという形です。委員会室内の理事者、担当部長等も同様でございます。新型コロナウイルス感染症対応等といたしまして、説明員の課長さんに別室で機器を使用してリモート参加していただくという形でさせていただきます。

委員会運営上、委員長は機器を使用いたします。この方式ですと、タブレットの台数の問題、また、ハウリング等の音声の問題、傍聴者、インターネット中継への音声対応の問題等がほぼ解消されると考えます。また、議員の皆様の機器の操作等の負担もなくなります。

また、費用面でも大きな経費を必要とはしません。ただし、音声等に一部課題がございますので、本日、実際に皆様と改めて検証してみたいと思います。よろしくお願いたします。

また、細かな説明は休憩を取りまして、そこに入りましてから細かく配役なども決めさせていただきますので、よろしくお願い申し上げます。

それでは、ここで暫時休憩といたします。

午後 1 時 3 5 分休憩



午後 2 時 4 9 分再開

○【高柳貴美代委員長】 それでは、休憩を閉じて委員会を再開いたします。

休憩の間に委員会のサテライト的オンラインによる模擬決算特別委員会を実施いたしました。委員の皆様、傍聴の皆様、本当に御協力、誠にありがとうございました。

それでは、実際に試してみてもの各委員の皆様の感想をお聞かせ願いたいと思います。いかがでしょうか。藤江委員。

○【藤江竜三委員】 傍聴して下さって手伝ってくれた議員の方や議会事務局さんの努力によってかなり音質も改善され、様々な問題がクリアできたと思います。実際に決算特別委員会ですらこういった技術を使って委員会を開いていくということは可能になったのかなというふうに思います。

また、リモートで自宅にいながら議員さんが参加するというのも可能性が見えたと思いますので、そういったところも含めまして、今後さらに詰めていく方向で今回決定し、さらに 8 月 7 日に決定して、委員長から報告書なりを出していただくということを進めていく形でよろしいのかと思います。よろしくお願いたします。

○【住友珠美委員】 本日は参加させていただいて、何回もやっていく中で、かなりハウリングの問題とか一つ一つ解決していった、本当に職員さん、かなり努力して下さったなと思いました。本当にありがとうございました。特に今回やったのは、フルオンライン化というのができるかというところの検証から始まって、今、サテライト方式を取り入れながら、ハイブリッドといいましょうか、そういった方式で行ったことでかなり明瞭になってきた。今の到達点がこのところなのかなというのもしっかり見えたようなところでございます。

あとはコロナ対策、特に三密を避けることが私たち一番の目的だったと思いますので、今回、そこを決特に向けての到達地点として、今後、さらにフルオンライン化ができるかどうか、この検討を進めていけたらいいんじゃないかなというふうに思っております。なかなか、問題はまだまだ山積しているところがございますけれども、頑張ってお考えいきたいなというふうに思います。以上です。

○【小口俊明委員】 皆さん、お疲れさまでございました。昨日まではおおむね方向性は見えていたんですけども、なかなか最終の詰めのところ厳しさが残っていたかなと思っております。けれ

ども、本日、この間、議会事務局のほうで大変大きな努力をしていただいて、これだけ劇的に改善をしたということにおいては、これで実際の決算特別委員会の説明員の皆さんの別室対応、リモートによる委員会というのが事実上可能になったな、このように感想を持ちました。そして、昨日までの段階で課題でありました別室における音声の途切れ、それから画面の停止等の回線の乱れ、遅れ、これが今日は一切なかったと思います。また、音質も、昨日までは音量とともに音質も悪く、聞き取りにくかった側面があったかと思っております。それが非常に改善されて音質もよくなったので、音量がそれほど大きくなくても聞き取れるという状況になったのかなと、そこも改善点としては大きなポイントかなと思っております。

今日、休憩の間に行った中では、課題として残ったのが、別室における——本会議場ですけれども、ウェブイーエックスのタブレットからビックパッドに音声のために接続するところがまだ検証ができておりませんので、ここはぜひ検証していけばよろしいのかなと思っておりますのと、また、この委員会室において、マイク及び音声のウェブイーエックス上のシステムであります、これ何というのでしょうかね、楕円形の機器でありますけれども、これを別室においても同じものを応用したら、さらによくなるのではないかなという案もこの間、出ておりましたので、その検証もしていただければ、さらによくなるのかなというふうに思っております。

そしてまた、今回、非常に大きなポイントかなと思ったのは、別室と委員会室の間の音声のやり取りを、既存の施設の音声システムを使わずにウェブイーエックスでつながっているというところが非常に大きなポイントかなと思いました。それによって安定的に音声、プラス映像もですけれども、これがやり取りできているというところが非常にポイントで、これがさらには自宅等の、またさらなる別の場所におけるリモートというところにもつながっていく、非常に大きなポイントだなと思しました。

そして、既存のシステムで活用している部分においては、インターネット中継にそのまま従来どおり直結できる、そのような工夫を、この楕円形の機器で音声を拾うという、その手法によって実現ができていているということにおいては、従来の委員会の運営と大きく異なることなく、実際に具体的に現実的な運営が可能になるというところまで、今回、議会事務局のほうでここまで整理していただいたことに感謝を申し上げたいと思います。これで実際に決算特別委員会が別室におけるオンライン、あるいはリモートという形で可能になってくるだろう、このように思っております。

○【稗田美菜子委員】 まず、ここまで来るのに、事務局をはじめとして御努力をしていただいたことに対しては本当に御礼を申し上げ、ありがとうございましたということを改めて申し上げておきたいと思います。

今回の決算特別委員会について、具体的にどういう形でできるのかというのが目に見える、目に浮かぶ形にまでできたのは、委員長の方でもあると思ひますし、皆さんの御協力があつたからだと思います。決算だけではなくて、これから先の将来にも役立つ形が見えたと思ひますし、今、コロナの中で言えば、感染者の人数が増えていくので、本当に議会が開いていけるのかどうかというようなことに、9月の決算の段階でどうなるのか見えないところにおいては、とてもいい形ができたのではないかなというふうに思ひました。本当にありがとうございました。

○【藤田貴裕委員】 では、個人的な感想を述べさせていただきます。まず、事務局には相当長い時間、設定に携わっていただいたことについては感謝を申し上げたいと思ひます。コロナが流行している中、通常の決算特別委員会は普通に考えればできないという中で、議員は委員会室にいて、答弁者

は、理事者等を除いては議場でやると、そういうような特例的な措置については、今日のデモを見て、一応やれないことはないのかなという気はいたしました。ただし、これはあくまでも特例的な措置であろうと、私はそういうふうに思っています。仮にコロナが収まらなかったら、決特が仮にうまくいったら、12月の常任委員会もこういう方式もあるのかなという気はしましたけれども、それはあくまでも特例措置だろうというふうに考えていますので、基本的に、コロナの状況はありますけれども、議会としての普通の対応もぜひやっていただきたいと私は思います。

そして、今日、参考資料として配られておって、参考資料程度だったんですね。まあいいかと思えますけれども、議員の自宅からのリモートを最終調整中ですか、一番最後の今後も委員会のフルオンライン会議実現に向けての協議を続けるという文字が仮に独り歩きすると、これは決まるものも決まっていかなくなってしまふんじゃないかという、私はそういうふうに考えています。というのは、私の交渉団体にはオンライン化について反対という声があります。そこについてはそういう意見もありますので、この文字が独り歩きするのは非常によくはないなど。私も別にフルオンライン化をやる予定は一切ありませんので、今回はあくまでも特例措置ということでやれないことはないなど、そういう個人的な感想をこの場で言いたいと思います。

○【高柳貴美代委員長】 ありがとうございます。

では、1回目からずっと一緒に実証実験にお付き合いいただきました石井議長、御感想をお願いします。

○【石井伸之議長】 まず、高柳委員長、ここまで、取りまとめまで御努力いただきまして、本当にありがとうございます。心から感謝を申し上げます。そして、各委員の皆様におかれましては、こうして実証実験を重ねる中で様々な御意見、また、オンライン化実施に向けての御協議を大変丁寧に、そして粘り強く重ねていただいたことに対して感謝を申し上げます。また、本日も傍聴に来ていただいております皆様におかれましては、こうやって議会運営委員会におけるオンライン事業の実現に向けて御協力いただいたこと、こちらでもまた感謝を申し上げます。

そして、何といたしまして、このオンライン化に向けた実証実験を、内藤議会事務局長をはじめとする議会事務局職員の皆様、本当に言葉に言い表せないほどの様々な努力をしていただき、また、調査をしていただく中で、様々な問題、ハウリングの問題であったり、画像の問題、一つ一つの改善に向けて努力をしていただいたこと、本当に心から感謝を申し上げます。

この問題につきましては、私は、何といたしましてソーシャルインクルージョン、この理念に沿ったオンライン化であると認識しております。もし委員の皆様が誰かが実際に新型コロナウイルスに罹患して、どうしても家から出られない、もしくは家族のどなたかが陽性反応が出たことによって自宅待機となってしまった。そういった場合であっても、その委員の発言をしっかりと保障していく、そういった中で、オンライン化は非常に重要なツールであると認識しております。

そういった中で、ここまで来られたことに対して一筋の光が差し込み、そして実現に向けて大きく前進したかと思えます。確かに自宅からという部分につきましては、いろいろ課題はあるかと思いますが、ぜひとも、新型コロナウイルスに罹患してしまったとか、何らかの特別な事情があった際であっても、必ず各議員一人一人の意見は国立市議会として反映させていく、決して排除をしない。そういった形を、ソーシャルインクルージョンの理念、精神に基づいて、このオンライン化、また、今後とも議会運営委員会の中で協議を進めていただき、確かなものとしていただくよう心からお願いをいたしまして、議長からの御礼の挨拶を一言させていただきます。本当にありがとうございました。

○【高柳貴美代委員長】 議長、ありがとうございました。

そして、最初から一緒に実証実験にもお付き合いいただき、また、先ほどはビデオまで撮ってくださり、時間も計ってくださった望月副議長、お願いいたします。

○【望月健一副議長】 まずもって御発言の機会をいただき、ありがとうございます。

高柳委員長をはじめ、議運のメンバーの皆様、短期間でここまでまとめてくださったこと、感謝を申し上げます。そして、また何よりも議会事務局の方には、前回よりはるかに改善したことにに関して、本当に高く評価をさせていただきます。誠にありがとうございます。

その上で、課題を3つ申し上げます。1つ目は、まず、別室の答弁者のタイムラグの問題をしっかりと今後も検証していただきたいこと。2つ目は費用面です。無制限で使える、例えばポケットWi-Fiなどがございますので、そういったものとの比較もお願いいたします。3つ目は将来的な課題でございますが、自宅で委員の皆様が審査を行う際に、それぞれのスマートフォンで、そのスペックに応じたスマートフォンでしっかりと対応ができるのか、これは検証が必要かと思っております。

また、最後に、この問題はやはり議会全体で一丸となって取り組むべき問題でありますので、一人一人の意見を大切にしながら、どうやったら着地点を見いだせるのか、そこをしっかりと考えていきたいと思っております。誠にありがとうございました。

○【高柳貴美代委員長】 皆様からの感想と御意見を伺いました。ありがとうございました。

日程が詰まっておりますので、次回の議会運営委員会では、委員会のオンライン化につきまして、議運としての意見を集約していく必要がございます。次回は8月7日13時30分でございます。各交渉団体におかれましては、決算特別委員会に向けてオンライン化の導入につきまして、交渉団体内で十分に御協議をいただきまして、交渉団体の御意見をまとめていただきたいと思っております。ぜひ皆様の御協力をいただいて、議会運営委員会として、国立市民にとってよい方向でまとめていきたい、委員長としてそのように考えております。ですので、8月7日までにそのように御意見をまとめていただきますよう、そして一致点を見つけて、そして議員全ての総意と、今、副議長もおっしゃいましたが、総意をまとめていくということを目指しまして進んでいきたいと思っておりますので、どうか皆様、御協力のほどよろしくお願いいたします。

それでは、以上をもちまして……（「ちょっといいですか」と呼ぶ者あり）藤江委員。

○【藤江竜三委員】 何か締切りの今日方向性を出すみたいな話をしていませんでしたっけ。今日、日程的には。だから、もうやるという方向性は、今回どこも反対がなかったもので、それは決めちゃっていいんじゃないですか。細かいところで……（「いや、それは違います。8月7日に」と呼ぶ者あり）

○【高柳貴美代委員長】 しかしながら、やはり持ち帰って皆様の御意見をしっかりと協議をしていただく、それが一番重要なことだと思いますので、ここでは皆さんが、藤田委員も個人的な意見としてというような感想を述べられています。ですので、これを交渉団体にお持ち帰りいただいて、しっかりと協議をしていただきたい。そのように考えますので、よろしいでしょうか。

（「はい」と呼ぶ者あり）

それでは、そのようにお願いいたします。



○【高柳貴美代委員長】 以上をもちまして、議会運営委員会を散会といたします。

午後3時7分散会

国立市議会委員会設置条例第29条の規定により、ここに署名いたします。

令和2年7月29日

議 会 運 営 委 員 長

高 柳 貴 美 代